

あらゆる手段で視覚障害の課題解決にとりくむエコシステムの構築

神戸アイセンター（株式会社ビジョンケア、神戸市立神戸アイセンター病院、公益社団法人NEXT VISION）

視覚障害の課題解決に向け、遺伝子や細胞治療といった新規モダリティが開発されているが、成功モデルは存在しておらず、患者オリエンテッドの治療づくりが求められている。また、治療が成功したとしても医療だけの課題解決には限界があり、ロービジョンケアやインクルーシブな社会の構築も重要となる。このことから、本取り組みでは、多分野の知を集結し、治療開発から制度改革、患者支援、ビジネス創出まであらゆる手段で視覚障害の課題解決に取り組むことが出来るエコシステムを構築している。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題

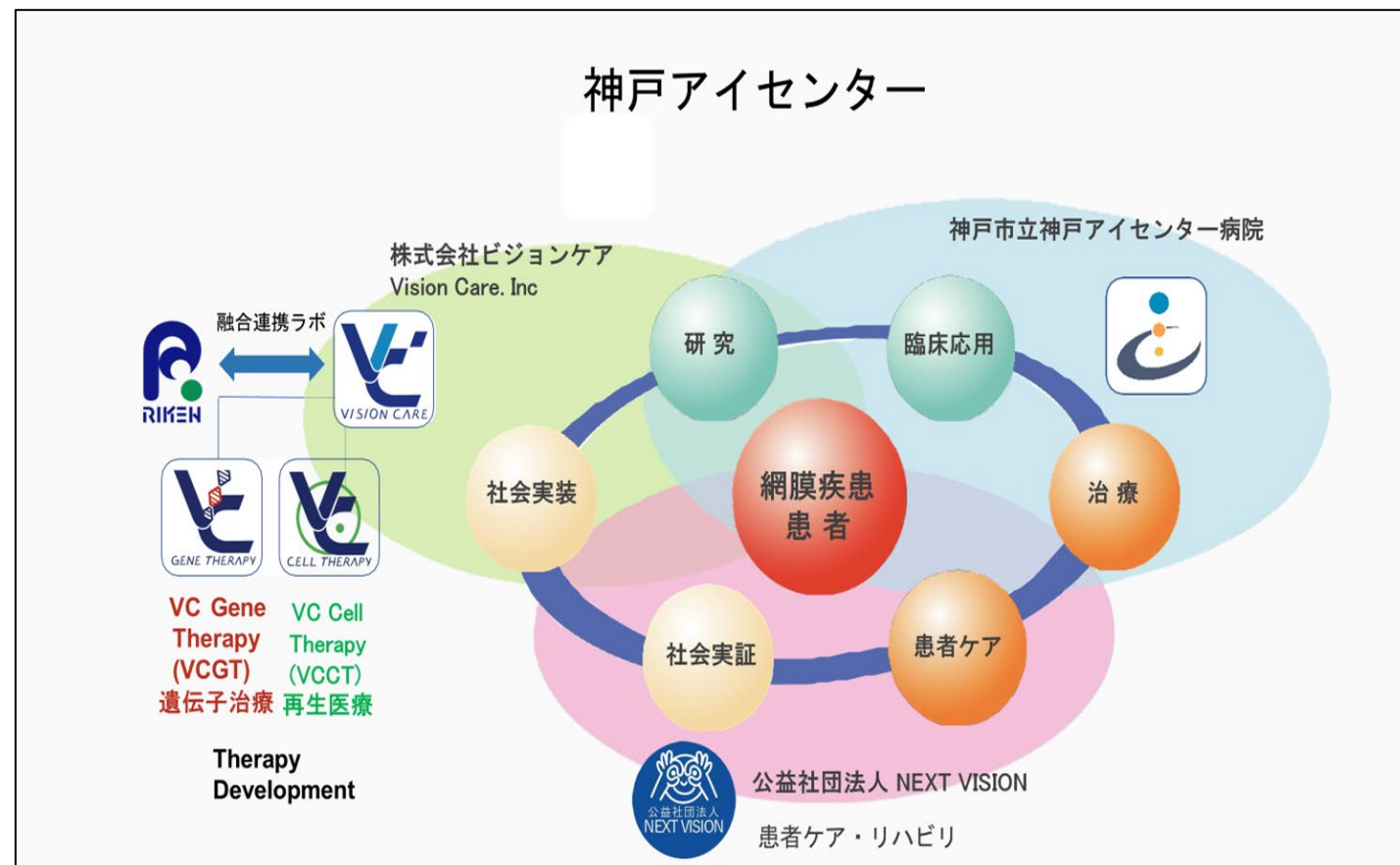
遺伝子・細胞治療からロービジョンケア、社会システムまでを含む患者オリエンテッドな総合的アプローチを実現し、あらゆる手段で視覚障害の課題解決に取り組むエコシステムを構築する。

ビジョン達成の課題

視覚障害の解決に向けて遺伝子・細胞治療などの新規モダリティが開発されているが、成功例はまだなく、従来の市場中心ではなく患者中心の治療作りが求められる。治療を開発するだけでは限界があり、社会の仕組みづくりをどのように行うかも重要となる。

「矩」を超えた場づくり / 得られた新たな価値

世界初のiPS細胞の臨床応用に成功したメンバーが中心となり、自治体のサポートの下、福祉・心理・教育などの多様な知を集結し、神戸アイセンター構想と称するエコシステムを形成した。治療の開発・医療の仕組み改革・患者ケア・新規ビジネスモデルなどあらゆる手段で視覚障害の課題解決に取り組んでいる。



2017~

神戸アイセンター構想

社会課題の解決のためのエコシステム



課題解決の方法

主な支援対象
視覚障害者
↓
高齢者など

課題解決の 両輪

アプローチ



医学的アプローチ

具体的な活動

網膜再生医療

遺伝子治療

社会的アプローチ

ロービジョンケア



手法

◎細胞生物学ーiPS細胞由来網膜色素上皮細胞・ゲノム編集
◎医療・眼科学ー手術法・臨床試験
◎AIー患者同意説明ソフト

◎経済学ー網膜再生医療値付研究
◎社会・政策ー民間保険デザイン
◎ビジネスービジネスモデルの構築

◎工学ーデジタルロービジョンケア
◎心理学ーWell-being関連因子特定研究
◎AIーロービジョンケア手法AIソフト

◎工学ーナビタグを用いたインフラ整備
◎社会・工学（視野狭窄の運転）
ドライビングシミュレーターDS研究
高度運転支援システム研究



壁や案内板に最適
ナビレンス



NaviLens (ナビレンス)

ルート案内に最適
shikAI



shikAI (シカイ)

DSコアメンバー



1. 視覚障害者が自立し、仕事・暮らし・娯楽で自らの能力を最大限発揮できる社会実現
2. 視覚障害の理解により当事者が不便を感じない真のインクルーシブな社会実現
3. 社会ニーズを体現しイノベーションを起こす源となる障害の社会的価値を活用する社会を目指す